



2023年1月26日
リサイクル燃料貯蔵株式会社

リサイクル燃料備蓄センターの貯蔵計画届出について

当社は、本日『核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律』第43条の13及び『使用済燃料の貯蔵の事業に関する規則』第23条第1項の規定に基づき、リサイクル燃料備蓄センターの貯蔵計画を原子力規制委員会へ届け出ましたのでお知らせいたします。

以 上

別紙：貯蔵計画

[参 考]

- リサイクル燃料備蓄センターの貯蔵計画
使用開始の予定の日の属する年度（2023年度*）から、当該年度の4月1日を始期とする3年間の貯蔵計画

*事業開始時期については、使用済燃料を収納した金属キャスクの搬入までに定める保安規定の変更認可の見通しが得られた段階で見極めるため、現時点では暫定的なものである。

【本件に関するお問い合わせ】
リサイクル燃料貯蔵株式会社
立地・広報グループ TEL 0175-25-2992

貯 蔵 計 画

原子力規制委員会 殿

RFS発官4第16号
令和5年1月26日

住所 青森県むつ市大字関根字水川目596番地1
氏名 リサイクル燃料貯蔵株式会社 代表取締役社長 高橋 泰成

核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律第43条の13及び使用済燃料の貯蔵の事業に関する規則第23条第1項の規定により次のとおり届け出ます。

事業所		名 称		リサイクル燃料備蓄センター							最大貯蔵能力 (トン)			約3000			
		所 在 地		青森県むつ市													
年度別	期別	燃料体の種類 (注)	使用済燃料受入量				使用済燃料払出量				期 末 在 庫 量						
			封入した容器数 (体)	燃料体数 (体)	ウランの量 (トン)	ウラン235の量 (トン)	プルトニウムの量 (トン)	封入した容器数 (体)	燃料体数 (体)	ウランの量 (トン)	ウラン235の量 (トン)	プルトニウムの量 (トン)	封入した容器数 (体)	燃料体数 (体)	ウランの量 (トン)	ウラン235の量 (トン)	プルトニウムの量 (トン)
2023年度	上期	BWR	0	0	0	0	/	0	0	0	0	/	0	0	0	0	/
		PWR	-	-	-	-	/	-	-	-	-	/	-	-	-	-	/
	下期	BWR	1	69	12	1	/	0	0	0	0	/	1	69	12	1	/
		PWR	-	-	-	-	/	-	-	-	-	/	-	-	-	-	/
	計	BWR	1	69	12	1	/	0	0	0	0	/					/
		PWR	-	-	-	-	/	-	-	-	-	/					/
2024年度	上期	BWR	未定	未定	未定	未定	/	0	0	0	0	/	未定	未定	未定	未定	/
		PWR	-	-	-	-	/	-	-	-	-	/	-	-	-	-	/
	下期	BWR	未定	未定	未定	未定	/	0	0	0	0	/	未定	未定	未定	未定	/
		PWR	-	-	-	-	/	-	-	-	-	/	-	-	-	-	/
	計	BWR	未定	未定	未定	未定	/	0	0	0	0	/					/
		PWR	-	-	-	-	/	-	-	-	-	/					/
2025年度	上期	BWR	未定	未定	未定	未定	/	0	0	0	0	/	未定	未定	未定	未定	/
		PWR	-	-	-	-	/	-	-	-	-	/	-	-	-	-	/
	下期	BWR	未定	未定	未定	未定	/	0	0	0	0	/	未定	未定	未定	未定	/
		PWR	-	-	-	-	/	-	-	-	-	/	-	-	-	-	/
	計	BWR	未定	未定	未定	未定	/	0	0	0	0	/					/
		PWR	-	-	-	-	/	-	-	-	-	/					/
合 計	BWR	未定	未定	未定	未定	/	0	0	0	0	/					/	
	PWR	-	-	-	-	/	-	-	-	-	/					/	

注 燃料体の種類別に記載すること。
備考1 ウラン、ウラン235又はプルトニウムの量は、原子核分裂させる前のものを記載すること。
2 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

BWRは発電用の軽水減速、軽水冷却、沸騰水型原子炉の使用済ウラン燃料を示す。
PWRは発電用の軽水減速、軽水冷却、加圧水型原子炉の使用済ウラン燃料を示す。
ウランの量、ウラン235の量、プルトニウムの量が1トン未満の場合は1(トン)と記載する。
2024年度及び2025年度の使用済燃料受入量を未定としているのは、東京電力ホールディングス株式会社及び日本原子力発電株式会社からの搬入計画が未定のため。